

News Release

平成23年12月8日

豊田PCB廃棄物処理施設 攪拌洗浄エリアにおける洗浄排液の漏洩について

日本環境安全事業株式会社豊田事業所は、平成23年12月8日午前10時から当所で開催された豊田市主催の豊田PCB処理安全監視委員会で、12月1日に当事業所で発生した、遮蔽フード内の床に洗浄排液約30リットル(PCB濃度 2.1mg/kg)が漏洩したトラブルの原因と対策を報告しました。

1. 洗浄排液の漏洩原因

豊田事業所には、PCB廃棄物処理の前処理施設として、含浸物を洗浄する攪拌洗浄槽を合計12槽設置しております。そのうち、第2洗浄槽の排液配管に設置してある排液バルブの弁（ダイヤフラム）を、11月に行った定期点検にあわせて交換しました。

その際、ダイヤフラム交換後の排液バルブの組み立てが適切でなかったのが原因で、定期点検後に運転を開始した際、弁の一部が破損し、液が漏れたものです。

なお、排気の常時監視設備での異常は認められず、外部への漏洩もなく周辺環境への影響はありませんでした。

2. 対策

破損した排液バルブについては、再度ダイヤフラムの交換を行いました。交換後は、正常な組み立てが行われ、問題なく作動することを確認した上で運転を再開しました。

今後も、排液バルブのダイヤフラムを交換する際には、確実に交換が行われていることを確認した上で、運転を開始します。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社豊田事業所

所長 庄賀 文彦 (TEL 0565-25-3110)